

「広島神楽」定期公演へようこそ!

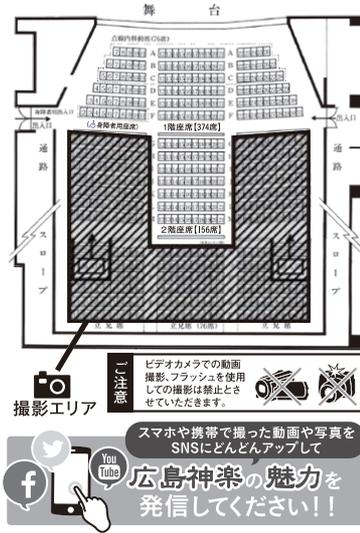
本日はご来場いただき、まことにありがとうございます。
当公演では、全てのお客様に気持ちよく神楽を鑑賞していただくため、下記のルールを設けています。
ご理解、ご協力をよろしくお願い申し上げます。

- (1) 座席での**飲食は出来ません**。ロビーをご利用下さい。
- (2) 上演中の立ち歩きや大声での私語など**他のお客様のご迷惑になる行為**はご遠慮下さい。
- (3) お子様連れの方は、お子様が舞台の前に出られると、演出等で**危険な場合**がございます。**着席**での鑑賞をお願いします。
- (4) 撮影について
→写真撮影は右図の**撮影エリア**で行って下さい。
※ビデオカメラでの**動画撮影**、**フラッシュの使用は禁止**します。(マスコミ関係など主催者の許可を得ている場合を除く)
- (5) 後から来られる**お連れ様の座席を確保**(物を置くなど)する行為は**禁止**いたします。

以上です。どうぞ、最後までごゆっくりお楽しみ下さい。

撮影エリアについてのご案内

写真撮影をご希望の方は必ず、下記の撮影エリアをお願いいたします。



10月5日のタイムスケジュール

出演：宮乃木神楽団（広島市）

19:00～開演

19:05～第一幕『滝夜叉姫』

(おおよそ40分)

～幕間(休憩)～

20:00～第二幕『源頼政』

(おおよそ40分)

20:45～記念撮影会

衣装やお面を実際に見ていただき、記念撮影をしていただけます。携帯電話での撮影も大歓迎です。本日の記念に是非ご参加下さい。また、神楽団との交流もいただけます。疑問に思ったことなど、直接団員にお聞きください。(舞台へは靴を脱いでお上がください。)

※記載の時間は目安です。多少前後する場合がございますので、あらかじめご了承ください。

みやのきかぐらだん

宮乃木神楽団プロフィール ～広島市安佐北区～

平成10年に、広島県広島市安佐北区飯室の野原八幡神社を御祭神として設立し、阿須那系八調子を源流とする、梶矢神楽団に師事を受けています。

神楽とは何か?を考え、儀式舞、儀礼舞、能舞の流れをふまえ、先人たちの築き上げた心意気を学びたいと考えています。

設立から15年を迎え、年間40回を超える出演依頼を頂き、感謝しております。

今後とも芸を磨き、見る人の心に残る神楽、また足を運んで頂けるよう日々精進していきたいと思っております。

第一幕『滝夜叉姫』(たきやしやひめ)

東の国の新皇を名乗った平将門(たいらのまさかど)は、天慶(てんぎょう)の乱で藤原秀郷(ふじわらのひでさと)・平貞盛(たいらのさだもり)の軍に敗れ去ります。

平将門の娘・五月姫(さつきひめ)は、父の怨念を果たす為、貴舟(きふね)の社(やしろ)に「願」をかけ、満願と共に貴舟の神より妖術を授かります。五月姫は、名を「滝夜叉姫」と改め、父の因縁の郷、下総の国・猿島(さしま)の地に立ち戻り、多くの手下を従えて反乱を企てます。

陰陽師・大宅中将光圀(おおやのちゅうじょうみつくに)らは、朝命を奉じて下総の国へと向かい、陰陽の術と邪心の妖術の激しい戦いとなりますが、滝夜叉姫の朝廷に対する復讐は成らず、無惨に敗れ去っていくという物語です。

【出演】	大太鼓 … 佐々木 崇志	大宅中将光圀 … 中村 直哉	滝夜叉姫 … 田村 和也
	小太鼓 … 栗 栖 綱	下田義親 … 山下 瑚太郎	賊 … 佐々木 恵太郎
	手打鉦 … 川江 翔太	貴船の神 … 中本 雄己	賊 … 中本 雄己
	笛 … 山口 莉奈		

第二幕『源頼政』(みなもとのよりまさ)

平安時代中期、丑の刻になると一団の黒雲が御所を覆い、時の帝・堀河天皇は決まっとうなされるということが毎夜続きました。重臣たちは帝の心をお慰めしようと大酒宴を催そうと考え、その準備を楓姫に命じます。楓姫は都より料理の名人・猪乃早太を呼び出し、料理を作らせました。

その最中、御殿に怪物が現れ、早太を襲おうとしましたが、楓姫によって追い払われ、怪物は住処である東三条ヶ森へと逃げ帰ります。その怪物は、頭は猿で胴は牛の如く、手足は虎に似て、尾は大蛇の姿で「鶴(ぬえ)」と呼ばれました。

帝より鶴退治の勅命を受けた弓の達人・源頼政は、楓姫とともに東三条ヶ森へ赴き、日ごろより祈願する弓矢八幡の御神徳を戴き、見事に退治するという物語です。

【出演】	大太鼓 … 山本 貴範	源頼政 … 中村 悠哉	鶴化身 … 中本 雄己
	小太鼓 … 佐々木 恵太郎	楓姫 … 半田 徹	子猿 … 半田 蓮介
	手打鉦 … 山口 蕉	猪乃早太 … 佐々木 崇志	鶴 … 田村 和也
	笛 … 中村 直哉		